

事務事業マネジメントシート (兼) 予算編成資料・実施計画資料

Main project information table including: 事務事業名 (花壇・生垣設置支援事業), 基本政策 (III うるおいと利便性のある都市づくり), 政策 (13 都市空間の整備), 施策 (21 安らぎ空間の整備), 事業期間 (単年度のみ), 所属部局 (農林商工部), 所属課室 (みどり自然課), 所属担当 (花とみどりの推進), 予算科目 (01 一般 08 04 06 030 01), 事業区分 (補助金交付事業), 法令根拠 (花壇・生垣推進に関する補助金交付要綱).

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

Activity and objective table: ① 活動 (24年度活動実績: 補助金交付数9件, 25年度活動予定: 補助金交付予定数16件予定), ② 対象 (花壇・生垣を新設する市民), ③ 意図 (花壇・生垣を設置する市民に対して助成する), ④ 上位目的 (緑豊かな街並みを形成し、潤いと安らぎを与える住環境を形成する...).

Indicator table: ⑤ 活動指標 (補助金申請数: 件, 補助金交付数: 件), ⑥ 対象指標 (市内世帯数: 戸), ⑦ 成果指標 (花壇・生垣設置補助個数: 戸, 花壇や生垣の管理が不十分で発生した苦情件数: 件), ⑧ 上位成果指標 (緑が連なる潤いのある街並みだと感じる市民の割合: %).

Cost and indicator trend table: (2) 事業費・指標の推移. Table with columns for years (23-28) and rows for financial items (国庫支出金, 事業費計(A), 人件費) and indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標, 上位成果指標).

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

Situation and opinion table: ① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか? (平成15年度より), ② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? (家庭緑化を進め、地球温暖化対策に対する意識が高まり...), ③ 事務事業に対して関係者(市民、事業者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか? (補助件数の増加に努力).

(4) 改革改善の取り組み状況

Reform and improvement table: ① 改革改善の取り組み実施は? (取り組みしている), ② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由) (補助基準を減額化して、広く市民に設置補助金を交付する), ③ H 24年度に実施した改革改善の内容 (広報への掲載、CATV等で周知、山梨県宅地建物取引業協会へもパンフレットの配布を依頼し推進を図る).

事務事業名	花壇・生垣設置支援事業	所属部	農林商工部	所属課	みどり自然課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 南アルプス市みどりの基本計画に基づいている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 南アルプス市みどりの基本計画に基づき、事業実施 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 緑豊かな街並み形成のため、今後も維持、継続していくことは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 補助件数の増加を図るには、広報・CATV等で周知する
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 緑の基本計画によるため。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 緑の基本計画の中では、より一層の豊かな街並み形成が求められている。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 補助金交付決定事務を行うため削減できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 全市民を対象としている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	南アルプス市を緑豊かな街並みで形成し、地震など防災においても安全で安心なまちづくりに寄与するための事業であり、非常に必要性のある事業である。事業費の原則2/3を市が補助し、受益者も1/3負担しており、それぞれ細分化した事業費について限度額を設けて運営している。また、市内全体から申請者を募っており、公平性も適切である。今後も引き続き事業の推進を行っていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 要綱にもとづき、処理を適正かつ、迅速に行う。 ② 補助件数の増加を図るには、広報、CATV等で周知する。 ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	①	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	①																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① 事務作業の効率化を図る。 ② 市民に周知の徹底 ③																						